



電話番号の設定

次の項では、Cisco CallManager Administration での電話番号（DN）に関する作業と設定について説明しています。

- [電話番号の設定の概要 \(P.49-2\)](#)
- [電話番号の検索 \(P.49-3\)](#)
- [電話番号の設定 \(P.49-4\)](#)
- [電話機からの電話番号の削除 \(P.49-6\)](#)
- [Cisco Unity または Cisco Unity Connection ボイスメールボックスの作成 \(P.49-7\)](#)
- [電話番号の設定値 \(P.49-9\)](#)
- [関連項目 \(P.49-27\)](#)

電話番号の設定の概要

Cisco CallManager Administration を使用して、特定の電話機に割り当てる電話番号（DN）の設定および変更を行います。ここでは、電話番号の追加、削除、および更新について説明します。

Directory Number Configuration ウィンドウを使用して、次の作業を実行します。

- 電話番号の追加または削除。
- コール転送、コール ピックアップ、コール ウェイティング、および Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) オプションの設定。
- 回線からコールが行われるときに、着信側電話機に表示されるテキストを指定する。
- 呼び出し音の設定。
- Cisco Unity または Cisco Unity Connection ユーザのボイスメールボックスの設定。

追加情報

P.49-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

電話番号の検索

電話番号 (DN) を検索する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Call Routing > Directory Number の順に選択します。

Find and List Directory Numbers ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の Find Directory Number ドロップダウン リスト ボックスから、電話番号の検索に使用するフィールドを選択します (たとえば、Directory Number、Route Partition、または Description)。



(注) データベースに登録されている電話番号をすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。検索条件と一致する電話番号のリストが表示されます。

ステップ 3 2 番目の Find Directory Number ドロップダウン リスト ボックスから、テキスト検索の検索パターンを選択します (たとえば、begins with、contains、または ends with)。

ステップ 4 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。

検索条件と一致するレコードが表示されます。各ページに表示される項目数を変更するには、Rows per Page ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択します。



ヒント 検索結果の中で電話番号を検索するには、**Search Within Results** チェックボックスをオンにし、このステップの説明に従って検索条件を入力します。



(注) 複数の電話番号を削除するには、該当する電話番号の横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックします。ウィンドウ内の電話番号をすべて削除するには、**Select All** をクリックし、**Delete Selected** をクリックします。

ステップ 5 検索条件と一致するレコードのリストで、表示する電話番号の名前をクリックします。

Directory Number Configuration ウィンドウに、選択した電話番号が表示されます。

追加情報

P.49-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

電話番号の設定

電話番号 (DN) を追加または更新する手順は、次のとおりです。電話番号を追加すると同時に、コール転送、コール ピックアップ、および MLPP の各電話機能を設定できます。



ヒント

電話番号にパターン (たとえば 352XX など) を割り当てることができます。電話番号にパターンを割り当てる場合は、ユーザが混乱しないように、電話番号設定フィールド (Line Text Label、Display (Internal Caller ID)、および External Phone Number Mask) にテキストや数字を追加します。これらのフィールドが特定の電話番号について表示されるのは、電話番号を追加し、さらに、その電話番号を電話機に関連付けた場合のみです。

たとえば、Line Text Label と Internal Caller ID にはユーザの名前を追加し、External Number Mask には外部の回線番号を追加します。このようにすれば、発信情報が表示されるときに、352XX ではなく John Chan と表示されます。

手順

ステップ 1 Call Routing > Directory Number の順に選択します。

Find and List Directory Numbers ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 特定の電話番号を見つけるには、検索条件を入力し、**Find** をクリックします。

検索条件と一致する電話番号のリストが表示されます。

ステップ 3 次の作業のいずれかを実行します。

- 電話番号を追加するには、**Add New** ボタンをクリックし、新しい電話番号を追加します。Directory Number Configuration ウィンドウが表示されます。



(注) Phone Configuration ウィンドウには、電話番号を追加するための代替方法が表示されません。**Device > Phone** メニュー オプションを使用し、新しい電話機を作成するか、または既存の電話機を検索します。新しい電話機を作成するか、または既存の電話機を表示したら、Phone Configuration ウィンドウの左側の Association Information 領域で、*Line [1] - Add a new DN* リンクまたは *Line [2] - Add a new DN* リンクをクリックします。Directory Number Configuration ウィンドウが表示されたら、この手順の**ステップ 4**に進みます。

- 電話番号を更新するには、更新する電話番号をクリックします。Directory Number Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 該当する設定値を更新します (表 49-1 を参照)。

ステップ 5 **Save** をクリックします。

ステップ 6 **Reset Phone** をクリックします。詳細については、P.70-5 の「電話機のリセット」を参照してください。



2 回線では足りない場合は、電話機タイプ (たとえば Cisco IP Phone モデル 7960 など) に対応する電話ボタンテンプレートを変更することによって、回線を増やすことができます。ただし、2 回線までしかサポートしていない電話機タイプ (Cisco IP Phone モデル 7902 など) もあります。



(注)

デバイスは、速やかに再起動してください。この再起動プロセス中に、ゲートウェイ上のコールがシステムによって終了される場合があります。

追加情報

P.49-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

電話機からの電話番号の削除

特定の電話機から電話番号（DN）を削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

使用されている電話番号を削除しようとする、Cisco CallManager はメッセージを表示します。電話番号を使用している回線グループを検索するには、Directory Number Configuration ウィンドウの **Dependency Records** リンクをクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、P.A-4 の「[Dependency Records へのアクセス](#)」を参照してください。

電話機から電話番号を削除しても、Cisco CallManager 内にはその番号がまだ残っています。電話機に関連付けられている電話番号のリストを表示するには、Route Plan Report メニュー オプションを使用します。詳細については、P.51-4 の「[割り当てられていない電話番号の削除](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 Device > Phone の順に選択します。

Find and List Phones ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 特定の電話機を見つけるには、検索条件を入力し、**Find** をクリックします。

検索条件と一致する電話機のリストが表示されます。

ステップ 3 削除する電話番号を含むデバイス名を選択します。

Phone Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 左側の Association Information 領域で、削除する回線を選択します。

Directory Number Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 Associated Devices ペインで、この電話番号を削除する電話機のデバイス名を選択します。

ステップ 6 Associated Devices ペインの下にある下矢印をクリックします。

電話機の名前が Dissociate Devices ペインに移動します。

ステップ 7 Directory Number Configuration ウィンドウの下部にある **Save** ボタンをクリックします。

その電話番号が削除された状態で、Phone Configuration ウィンドウが表示されます。変更内容が電話機に自動的に適用されます。ただし、**Reset Phone** をクリックすることもできます。詳細については、P.70-5 の「[電話機のリセット](#)」を参照してください。

追加情報

P.49-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unity または Cisco Unity Connection ボイスメールボックスの作成

Directory Number Configuration ウィンドウの「Create Cisco Unity User」リンクを使用すると、管理者は Cisco CallManager Administration から個々に Cisco Unity および Cisco Unity Connection ボイスメールボックスを作成できます。

始める前に

- Unity の管理者が適切なソフトウェアをインストールしていることを確認する (Cisco CallManager サーバの Voice Mailbox asp ページのインストールを含む)。『Cisco CallManager 5.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0』または『Cisco CallManager 5.0 SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection 2.1』を参照してください。
- ボイスメッセージサービス用に Cisco CallManager を設定する必要がある。『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」を参照してください。
- Cisco Unity または Cisco Unity Connection サーバを設定する必要がある。該当する Cisco Unity インストールガイドを参照してください。
- Cisco Unity または Cisco Unity Connection Cisco CallManager Integrated Voice Mailbox Configuration が Cisco Unity または Cisco Unity Connection サーバで使用可能になっていることを確認する。『Cisco CallManager 5.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0』または『Cisco CallManager 5.0 SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection 2.1』を参照してください。
- Cisco RIS Data Collector サービスがアクティブになっていることを確認する。『Cisco CallManager Serviceability システム ガイド』および『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』を参照してください。
- Directory Number Configuration ウィンドウで、Voice Mail Profile が設定され、パイロット番号を含んでいること、または None に設定されていることを確認する。Voice Mail Profile が No Voice Mail に設定されている場合、「Create Cisco Unity User」リンクは表示されません。



(注) End User Configuration ウィンドウにも「Create Cisco Unity User」リンクがあります。

手順

- ステップ 1** Call Routing > Directory Number の順に選択し、Add New をクリックします。
- ステップ 2** 適切な設定値を入力します (表 49-1 を参照)。
- ステップ 3** ウィンドウの右上隅にある Related Links ドロップダウン リスト ボックスから、「Create Cisco Unity User」リンクを選択し、Go をクリックします。

Add Cisco Unity User ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** Application Server ドロップダウン リスト ボックスから、Cisco Unity ユーザを作成する Cisco Unity または Cisco Unity Connection サーバを選択し、Next をクリックします。
- ステップ 5** Subscriber Template ドロップダウン リスト ボックスから、使用するユーザテンプレートを選択します。

ステップ 6 Save をクリックします。

Cisco Unity または Cisco Unity Connection メールボックスが作成されます。Directory Number Configuration ウィンドウで、Related Links 内のリンクが「Edit Cisco Unity User」に変わります。

これで、Cisco Unity Administration に、作成したメールボックスを表示できます。Cisco Unity または Cisco Unity Connection のマニュアルを参照してください。



(注) Cisco Unity は、Cisco CallManager からのデータの同期を監視します。同期時間は、Tools の下の Cisco Unity Administration (Import CallManager Users、Sync CallManager) で設定できます。Cisco Unity のマニュアルを参照してください。

追加情報

P.49-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

電話番号の設定値

表 49-1 では、Directory Number Configuration ウィンドウで使用可能なフィールドについて説明します。

表 49-1 電話番号の設定値

| フィールド | 説明 |
|------------------|--|
| 電話番号の情報 | |
| Directory Number | <p>ダイヤル可能な電話番号を入力します。この値には、数字とルートパターンのワイルドカード、および特殊文字 (.) と (@) を除く) を指定できます。</p> <p> (注) 電話番号としてパターンが使用されている場合、電話機の表示、およびダイヤルされた電話機への発信者 ID の表示には、数字以外の文字が含まれます。このような表示を避けるために、Display (Internal Caller ID)、Line Text Label、および External Phone Number Mask に値を入力することをお勧めします。</p> <p>入力する電話番号が、複数のパーティションに表示される場合があります。</p> <p> (注) JTAPI または TAPI アプリケーションでデバイスを制御したりモニタしたりする場合は、そのデバイスに同一の電話番号を持つ複数のインスタンス (パーティションは異なる) を設定しないでください。</p> |
| Route Partition | <p>この電話番号が属するパーティションを選択します。Directory Number フィールドに入力する電話番号が、選択したパーティション内で固有のものであることを確認してください。電話番号へのアクセスを制限しない場合は、パーティションに <None> を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで設定された数よりもパーティションの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウンリストボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにパーティション名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるパーティションのリストで希望するパーティション名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) リストボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。</p> |
| Description | 電話番号とルートパターンの説明を入力します。 |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|----------------------------------|--|
| Alerting Name | <p>発信者の電話機に表示させる名前 (警告名) を入力します。</p> <p>この設定は QSIG プロトコルの Identification Service をサポートし、共有および非共有の電話番号に適用されます。共有の回線表示を持つ電話番号に警告名を設定すると、着側 PINX で電話機の呼び出し音が鳴った時に、システムが次の作業を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話番号に割り当てられた発信者の名前を転送します。 • 変換パターン (制限がある場合) に設定された Connected Name Restrictions (CONR) を適用します。ルートパターン設定に応じて、発信 PINX が CONR を変更する場合があります。 <p>警告名を設定しない場合、発信者の電話機に「Name Not Available」と表示される場合があります。Display (Internal Caller ID) フィールドに名前を入力しない場合、Alerting Name フィールド内の情報が Display (Internal Caller ID) フィールドに表示されます。</p> |
| ASCII Alerting Name | <p>このフィールドには、Alerting Name フィールドと同じ情報を指定します。ただし、入力は ASCII 文字に制限されます。Unicode (国際化) 文字をサポートしないデバイスでは、Alerting Name ASCII フィールドの内容が表示されます。</p> |
| Active | <p>Directory Number Configuration ウィンドウにこのチェックボックスを表示するには、Route Plan Report ウィンドウから、割り当てられていない電話番号にアクセスします。このチェックボックスをオンにすると、この電話番号へのコールを転送できるようになります (転送が設定されている場合)。このチェックボックスをオフにすると、Cisco CallManager はその電話番号を無視します。</p> |
| Allow Control of Device from CTI | <p>このチェックボックスをオンにすると、CTI から、この電話番号が関連付けられたデバイスの回線を制御および監視できます。</p> <p>電話番号が共有回線を指定している場合、関連付けられたデバイスの少なくとも 1 つが、CTI でサポートされるデバイス タイプおよびプロトコルの組み合わせを指定しているときは、チェックボックスがオンになっていることを確認します。</p> |
| Line Group | <p>このドロップダウン リスト ボックスから、この DN を関連付ける回線グループを選択します。</p> <p>回線グループの回線グループ情報を編集または表示するには、ドロップダウン リスト ボックスから回線グループを選択し、Edit Line Group ボタンをクリックします。回線グループの設定の詳細については、P.36-1 の「回線グループの設定」を参照してください。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|--------------------|---|
| Associated Devices | <p>この DN を電話機に関連付けると、この DN が関連付けられた電話機がこのペインに表示されます。</p> <p>この DN が関連付けられた電話機を編集するには、Associated Devices ペインでデバイス名を選択し、Edit Device ボタンをクリックします。選択したデバイスの Phone Configuration ウィンドウが表示されます。電話機の設定の詳細については、「Cisco IP Phone の設定」の章を参照してください。</p> <p>この DN に対して定義されたライン アピアランスを編集するには、Associated Devices ペインでデバイス名を選択し、Edit Line Appearance ボタンをクリックします。Directory Number Configuration ウィンドウがリフレッシュされ、選択したデバイスについて、この DN のライン アピアランスが表示されます。</p> |
| Dissociate Devices | DN とデバイスの関連付けを解除する場合、この DN の関連付けを解除するデバイスがこのペインに表示されます。 |
| 電話番号の設定値 | |
| Voice Mail Profile | <p>Voice Mail Profile Configuration に定義されているボイスメール プロファイルのリストから選択します。</p> <p>最初のオプションは、<None> で、Voice Mail Profile Configuration で設定された現在のデフォルト ボイスメール プロファイルを表しています。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|----------------------|--|
| Calling Search Space | <p>ドロップダウンリストボックスから、適切なコーリングサーチスペースを選択します。コーリングサーチスペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。選択された値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。電話番号のコーリングサーチスペースの設定情報については、P.49-26 の「Calling Search Space」を参照してください。</p> <p>このフィールドに変更を加えると、Call Pickup Group フィールドにリストされている番号が更新されます。</p> <p>コーリングサーチスペースは、Forward All、Forward Busy、Forward No Answer、Forward No Coverage、および Forward on Failure の電話番号に対して設定できます。選択された値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。</p> <p>Call Forward All を正しく動作させるには、Primary Forward All Calling Search Space または Secondary Forward All Calling Search Space の一方または両方を設定する必要があります。システムはこれらの連結フィールド (Primary CFA CSS + Secondary CFA CSS) を使用して、CFA 転送先を確認し、その CFA 転送先にコールを転送します。</p> <p> (注) システムでパーティションとコーリングサーチスペースが使用されている場合は、他のコール転送のコーリングサーチスペースも設定することをお勧めします。コールをコール転送先に転送またはリダイレクトする場合は、設定されたコール転送のコーリングサーチスペースを使用してコールが転送されます。転送のコーリングサーチスペースが None の場合、システムでパーティションとコーリングサーチスペースが使用されているときは、転送動作が失敗することがあります。たとえば、Forward Busy Destination が設定されている場合は、Forward Busy Calling Search Space も設定する必要があります。Forward Busy Calling Search Space が設定されていない場合、Forward Busy Destination がパーティション内にあるときは、転送動作は失敗します。</p> <p>Cisco IP Phone ユーザ オプション ウィンドウまたは電話機の CFwdAll ソフトキーを使用してコールを転送する場合、回線 CSS とデバイス CSS の自動的な連結は使用されません。設定された Primary CFA CSS と Secondary CFA CSS だけが使用されます。これらのフィールドがどちらも <None> の場合、連結によって 2 つのヌルパーティションが生じます。その結果、転送動作は失敗します。</p> <p>ユーザが電話機上でコールを転送するのを制限する場合は、Forward All Calling Search Space フィールドから、限定的なコーリングサーチスペースを選択する必要があります。</p> <p>詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「パーティションおよびコーリングサーチスペース」を参照してください。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|---------------------------|--|
| Presence Group | <p>このフィールドには、プレゼンス機能を設定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスから、この電話番号のプレゼンス グループを選択します。選択されたグループでは、この電話番号を監視できるデバイス、エンドユーザ、およびアプリケーション ユーザが指定されます。</p> <p>Presence Group のデフォルト値は、Standard Presence グループになっています (このグループはインストール時に設定されます)。ドロップダウン リスト ボックスには、Cisco CallManager Administration で設定されたプレゼンス グループも表示されます。</p> <p>グループ間のプレゼンス要求を許可またはブロックするため、プレゼンスグループに対するプレゼンス認可が処理されます。グループ間の権限の設定については、『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p> |
| AAR Group | <p>このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループは、帯域幅不足のためにコールがブロックされないように、コールをルーティングするためのプレフィックス番号を提供します。AAR グループ設定を None にすると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。</p> |
| User Hold Audio Source | <p>ユーザが保留操作を開始したときに再生されるオーディオ ソースを選択します。</p> |
| Network Hold Audio Source | <p>ネットワークが保留操作を開始したときに再生されるオーディオ ソースを選択します。</p> |
| Auto Answer | <p>次のいずれかを選択し、この電話番号の Auto Answer 機能をアクティブにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto Answer Off <デフォルト> • ヘッドセットでの Auto Answer • スピーカフォンでの Auto Answer <p> (注) ヘッドセットでの Auto Answer またはスピーカフォンでの Auto Answer を選択する場合は、ヘッドセットまたはスピーカフォンが使用可能であることを確認します。</p> <p> (注) 共有回線を持つデバイスには Auto Answer を設定しないでください。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|--|---|
| コール転送とコール ピックアップの設定値 | |
| Forward All | <p>このフィールドの行の設定値は、電話番号がコールをすべて転送するように設定されている場合の、この電話番号へのコールの転送処理を指定します。ユーザが電話機から Call Forward All をアクティブにすると、入力された Forward All 転送先を検証するために、Calling Search Space フィールドが使用されます。このフィールドは、コールを Call Forward All 転送先にリダイレクトするときにも使用されます。</p> <p>次の値のいずれかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Voice Mail : Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <p> (注) このチェックボックスがオンになっていると、Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Destination : この設定値は、すべてのコールの転送先となる電話番号を示します。外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 • Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 |
| Secondary Calling Search Space for Forward All | <p>コール転送は回線ベースの機能であるため、デバイスのコーリング検索スペースが不明の場合、システムはコールを転送するときに、回線のコーリング検索スペースのみを使用します。回線のコーリング検索スペースが限定的であり、ルーティング可能でない場合、転送は失敗します。</p> <p>Call Forward All のセカンダリ コーリング検索スペースを追加すると、転送が可能なソリューションが得られます。Call Forward All のプライマリコーリング検索スペースと Call Forward All のセカンダリ コーリング検索スペースは連結されます (Primary CFA CSS + Secondary CFA CSS)。Call Forward All が処理されます。Cisco CallManager は、この連結を使用して、CFA 転送先を検証し、コールを転送します。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|-----------------------|---|
| Forward Busy Internal | <p data-bbox="627 315 1479 450">このフィールドの行の設定値は、電話番号がビジー状態の場合の、この電話番号への内部コールの転送処理を指定します。コールを転送先にリダイレクトするときは、コール転送先と Calling Search Space フィールドが使用されます。</p> <p data-bbox="627 472 994 506">次の値のいずれかを指定します。</p> <ul data-bbox="639 528 1479 618" style="list-style-type: none"> • Voice Mail : 内部コールに対して Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <p data-bbox="627 629 675 674"></p> <p data-bbox="627 678 1479 831">(注) このチェックボックスがオンの場合は、ボイスメールパイロットのコーリングサーチスペースが使用されます。Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視します。Calling Search Space を None に設定すると、発信デバイスのコーリングサーチスペースが使用されます。</p> <p data-bbox="627 887 675 931"></p> <p data-bbox="627 936 1479 1088">(注) 内部コールに対してこのチェックボックスがオンになっている場合、システムにより外部コールの Voice Mail チェックボックスが自動的にオンとなります。外部コールをボイスメッセージシステムに転送しない場合、外部コールの Voice Mail チェックボックスをオフにする必要があります。</p> <ul data-bbox="639 1133 1479 1200" style="list-style-type: none"> • Destination : 外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 <p data-bbox="627 1223 675 1267"></p> <p data-bbox="627 1272 1479 1402">(注) 内部コールの転送先の値を入力すると、システムによりこの値が外部コールの Destination フィールドに自動的にコピーされます。別の宛先に外部コールを転送する場合は、外部コールの Destination フィールドに別の値を入力する必要があります。</p> <ul data-bbox="639 1447 1479 1514" style="list-style-type: none"> • Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 <p data-bbox="627 1536 675 1581"></p> <p data-bbox="627 1585 1479 1738">(注) 内部コールに対して Calling Search Space を選択した場合、システムにより外部コールの Calling Search Space 設定にこの値が自動的にコピーされます。別のコーリングサーチスペースに外部コールを転送する場合は、外部コールの Calling Search Space ドロップダウンリストボックスで別の設定値を選択する必要があります。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|-----------------------|--|
| Forward Busy External | <p>このフィールドの行の設定値は、電話番号がビジー状態の場合の、この電話番号への外部コールの転送処理を指定します。コールを転送先にリダイレクトするときは、コール転送先と Calling Search Space フィールドが使用されます。</p> <p>次の値のいずれかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Voice Mail : 外部コールに対して Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <p> (注) このチェックボックスがオンの場合は、ボイスメールパイロットのコーリングサーチスペースが使用されます。Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視します。Calling Search Space を None に設定すると、発信デバイスのコーリングサーチスペースが使用されます。</p> <p> (注) 内部コールに対して Voice Mail チェックボックスがオンになっている場合、システムにより外部コールの Voice Mail チェックボックスが自動的にオンとなります。外部コールをボイスメッセージシステムに転送しない場合、外部コールの Voice Mail チェックボックスをオフにする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Destination : 外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 <p> (注) 内部コールの転送先の値を入力すると、システムによりこの値が外部コールの Destination フィールドに自動的にコピーされます。別の宛先に外部コールを転送する場合は、外部コールの Destination フィールドに別の値を入力する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 <p> (注) 内部コールに対して Calling Search Space を選択した場合、システムにより外部コールの Calling Search Space 設定にこの値が自動的にコピーされます。別のコーリングサーチスペースに外部コールを転送する場合は、外部コールの Calling Search Space ドロップダウンリストボックスで別の設定値を選択する必要があります。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|-------------------------------|---|
| Forward No Answer Internal | <p>このフィールドの行の設定値は、電話番号が応答しない場合の、この電話番号への内部コールの転送処理を指定します。コールを転送先にリダイレクトするときは、コール転送先と Calling Search Space フィールドが使用されます。次の値のいずれかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Voice Mail : Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <p> (注) このチェックボックスがオンの場合は、ボイスメールパイロットのコーリングサーチスペースが使用されます。Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視します。Calling Search Space を None に設定すると、発信デバイスのコーリングサーチスペースが使用されます。</p> <p> (注) 内部コールに対してこのチェックボックスがオンになっている場合、システムにより外部コールの Voice Mail チェックボックスが自動的にオンとなります。外部コールをボイスメッセージシステムに転送しない場合、外部コールの Voice Mail チェックボックスをオフにする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Destination : この設定値は、コールに応答がないときに、内部コールの転送先となる電話番号を示します。外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 <p> (注) 内部コールの転送先の値を入力すると、システムによりこの値が外部コールの Destination フィールドに自動的にコピーされます。別の宛先に外部コールを転送する場合は、外部コールの Destination フィールドに別の値を入力する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 <p> (注) 内部コールに対して Calling Search Space を選択した場合、システムにより外部コールの Calling Search Space 設定にこの値が自動的にコピーされます。別のコーリングサーチスペースに外部コールを転送する場合は、外部コールの Calling Search Space ドロップダウンリストボックスで別の設定値を選択する必要があります。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|----------------------------|---|
| Forward No Answer External | <p data-bbox="625 306 1481 450">このフィールドの行の設定値は、電話番号が応答しない場合の、この電話番号への外部コールの転送処理を指定します。コールを転送先にリダイレクトするときは、コール転送先と Calling Search Space フィールドが使用されます。次の値のいずれかを指定します。</p> <ul data-bbox="639 472 1481 533" style="list-style-type: none"> • Voice Mail : Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <p data-bbox="625 555 676 600"></p> <p data-bbox="625 600 1481 757">(注) このチェックボックスがオンの場合は、ボイスメールパイロットのコーリングサーチスペースが使用されます。Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視します。Calling Search Space を None に設定すると、発信デバイスのコーリングサーチスペースが使用されます。</p> <p data-bbox="625 801 676 846"></p> <p data-bbox="625 846 1481 1010">(注) 内部コールに対してこのチェックボックスがオンになっている場合、システムにより外部コールの Voice Mail チェックボックスが自動的にオンとなります。外部コールをボイスメッセージシステムに転送しない場合、外部コールの Voice Mail チェックボックスをオフにする必要があります。</p> <ul data-bbox="639 1055 1481 1155" style="list-style-type: none"> • Destination : この設定値は、コールに応答がないときに、外部コールの転送先となる電話番号を示します。外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 <p data-bbox="625 1178 676 1223"></p> <p data-bbox="625 1223 1481 1346">(注) 内部コールの転送先の値を入力すると、システムによりこの値が外部コールの Destination フィールドに自動的にコピーされます。別の宛先に外部コールを転送する場合は、外部コールの Destination フィールドに別の値を入力する必要があります。</p> <ul data-bbox="639 1391 1481 1458" style="list-style-type: none"> • Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 <p data-bbox="625 1480 676 1525"></p> <p data-bbox="625 1525 1481 1682">(注) 内部コールに対して Calling Search Space を選択した場合、システムにより外部コールの Calling Search Space 設定にこの値が自動的にコピーされます。別のコーリングサーチスペースに外部コールを転送する場合は、外部コールの Calling Search Space ドロップダウンリストボックスで別の設定値を選択する必要があります。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|------------------------------|---|
| Forward No Coverage Internal | <p data-bbox="627 309 1479 376">コールを転送先にリダイレクトするときは、コール転送先と Calling Search Space フィールドが使用されます。次の値のいずれかを指定します。</p> <ul data-bbox="639 398 1479 465" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="639 398 1479 465">• Voice Mail : Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <p data-bbox="627 488 675 521"></p> <p data-bbox="627 533 1479 745">(注) このチェックボックスがオンになっていると、Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視します。内部コールに対してこのチェックボックスがオンになっている場合、システムにより外部コールの Voice Mail チェックボックスが自動的にオンとなります。外部コールをボイス メッセージシステムに転送しない場合、外部コールの Voice Mail チェックボックスをオフにする必要があります。</p> <ul data-bbox="639 801 1479 925" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="639 801 1479 925">• Destination : この設定値は、内部無接続コールの転送先の電話番号を指定します (該当の電話番号を制御するアプリケーションが動作していない場合)。外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 <p data-bbox="627 947 675 981"></p> <p data-bbox="627 992 1479 1126">(注) 内部コールの転送先の値を入力すると、システムによりこの値が外部コールの Destination フィールドに自動的にコピーされます。別の宛先に外部コールを転送する場合は、外部コールの Destination フィールドに別の値を入力する必要があります。</p> <ul data-bbox="639 1171 1479 1238" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="639 1171 1479 1238">• Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 <p data-bbox="627 1249 675 1283"></p> <p data-bbox="627 1294 1479 1451">(注) 内部コールに対して Calling Search Space を選択した場合、システムにより外部コールの Calling Search Space 設定にこの値が自動的にコピーされます。別のコーリングサーチスペースに外部コールを転送する場合は、外部コールの Calling Search Space ドロップダウンリスト ボックスで別の設定値を選択する必要があります。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|------------------------------|--|
| Forward No Coverage External | <p data-bbox="627 309 1479 376">コールを転送先にリダイレクトするときは、コール転送先と Calling Search Space フィールドが使用されます。次の値のいずれかを指定します。</p> <ul data-bbox="638 398 1479 465" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="638 398 1479 465">• Voice Mail : Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <hr/> <p data-bbox="627 488 1479 521"> (注) このチェックボックスがオンになっていると、Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視します。内部コールに対してこのチェックボックスがオンになっている場合、システムにより外部コールの Voice Mail チェックボックスが自動的にオンとなります。外部コールをボイス メッセージシステムに転送しない場合、外部コールの Voice Mail チェックボックスをオフにする必要があります。</p> <hr/> <ul data-bbox="638 801 1479 925" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="638 801 1479 925">• Destination : この設定値は、内部無接続コールの転送先の電話番号を指定します (該当の電話番号を制御するアプリケーションが動作していない場合)。外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 <hr/> <p data-bbox="627 947 1479 981"> (注) 内部コールの転送先の値を入力すると、システムによりこの値が外部コールの Destination フィールドに自動的にコピーされます。別の宛先に外部コールを転送する場合は、外部コールの Destination フィールドに別の値を入力する必要があります。</p> <hr/> <ul data-bbox="638 1171 1479 1238" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="638 1171 1479 1238">• Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 <hr/> <p data-bbox="627 1261 1479 1294"> (注) 内部コールに対して Calling Search Space を選択した場合、システムにより外部コールの Calling Search Space 設定にこの値が自動的にコピーされます。別のコーリングサーチスペースに外部コールを転送する場合は、外部コールの Calling Search Space ドロップダウンリストボックスで別の設定値を選択する必要があります。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|-----------------------------------|---|
| Forward on CTI Failure | <p>このフィールドは、CTI ルート ポイントおよび CTI ポートのみに適用されます。この行の設定値は、CTI ルート ポイントまたは CTI ポートが失敗した場合の、この CTI ルート ポイントまたは CTI ポートへの外部コールの転送処理を指定します。次の値のいずれかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Voice Mail : Voice Mail Profile Configuration ウィンドウ内の設定値を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。 <p> (注) このチェックボックスがオンになっていると、Cisco CallManager は、Destination ボックスと Calling Search Space の設定値を無視しません。内部コールに対してこのチェックボックスがオンになっている場合、システムにより外部コールの Voice Mail チェックボックスが自動的にオンとなります。外部コールをボイスメッセージシステムに転送しない場合、外部コールの Voice Mail チェックボックスをオフにする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Destination : この設定値は、内部無接続コールの転送先の電話番号を指定します (該当の電話番号を制御するアプリケーションが動作していない場合)。外部宛先を含む、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用してください。 <p> (注) 内部コールの転送先の値を入力すると、システムによりこの値が外部コールの Destination フィールドに自動的にコピーされます。別の宛先に外部コールを転送する場合は、外部コールの Destination フィールドに別の値を入力する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Calling Search Space : この設定値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。 <p> (注) 内部コールに対して Calling Search Space を選択した場合、システムにより外部コールの Calling Search Space 設定にこの値が自動的にコピーされます。別のコーリングサーチスペースに外部コールを転送する場合は、外部コールの Calling Search Space ドロップダウンリストボックスで別の設定値を選択する必要があります。</p> |
| No Answer Ring Duration (seconds) | <p>このフィールドは Call Forward No Answer Destination と併用し、電話機で呼び出し音が鳴ってから転送が開始されるまでの時間を示すタイマーを設定します。この設定をブランクのままにすると、Cisco CallManager サービスパラメータの Forward No Answer Timer に設定された値が使用されます。</p> <p> 注意 デフォルトでは、Cisco CallManager は、No Answer Ring Duration の時間よりも T301 タイマーの時間を長くします。T301 タイマーの設定時間が No Answer Ring Duration よりも先に時間切れになった場合は、コールが終了し、コール転送が行われません。この動作を選択する場合は、No Answer Ring Duration の時間を T301 タイマーよりも大きくするように設定できます。T301 タイマーについては、System > Service Parameters の順に選択し、表示されたウィンドウで、サーバ、Cisco CallManager サービス、およびパラメータを選択します。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|---|--|
| Call Pickup Group | (指定されたパーティション内で) この電話番号へのコールに応答するために、ダイヤル可能な番号を選択します。 |
| MLPP 代替パーティの設定値 | |
| Target (Destination) | この電話番号が優先コールを受信し、この番号とそのコール転送先が優先コールに応答しない場合に MLPP 優先コールが誘導される番号を入力します。 この値には、数字、シャープ (#)、およびアスタリスク (*) を指定できます。 |
| MLPP Calling Search Space | ドロップダウンリスト ボックスから、MLPP 代替パーティのターゲット (宛先) 番号に関連付けられたコーリング サーチ スペースを選択します。電話番号のコーリング サーチ スペースの設定情報については、 P.49-26 の「Calling Search Space」 を参照してください。 |
| MLPP No Answer Ring Duration (seconds) | 秒数 (4 ~ 60) を指定します。この電話番号とそのコール転送先が MLPP 優先コールに応答しない場合、ここで指定した秒数が経過すると、MLPP 優先コールがこの電話番号の代替パーティに誘導されます。 この設定をブランクのままにすると、Cisco CallManager エンタープライズパラメータの Precedence Alternate Party Timeout に設定された値が使用されます。 |
| Line [number] on Device [device name] | |
|  | |
| (注) | これらのフィールドが表示されるのは、この電話番号をデバイスに関連付けた場合のみです。 |
| Display (Internal Caller ID) | 着側に表示されるテキスト。このフィールドをブランクのままにすると、内線番号が表示されます。 最長 30 文字の英数字を使用してください。通常、ユーザ名または電話番号を使用します。電話番号を使用した場合、コールを受信した人は発信者の固有 ID を見ることはできません。 右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、 Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスだけに適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。 |
| ASCII Display (Internal Caller ID) | このフィールドには、 <i>Display (Internal Caller ID)</i> フィールドと同じ情報を指定します。ただし、入力は ASCII 文字に制限されます。Unicode (国際化) 文字をサポートしないデバイスでは、 <i>ASCII Display (Internal Caller ID)</i> フィールドの内容が表示されます。 右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、 Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスだけに適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。 |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|-----------------------------|---|
| Line Text Label | <p>このフィールドは、回線の表示に電話番号を示さないようにする場合に限り使用します。回線 / 電話機の組み合わせに対し電話番号を識別するテキストを入力します。</p> <p>複数の電話番号をモニタする秘書や担当者がそれらの電話番号を識別できるように、所属長の氏名、部門名、または他の適切な情報の入力をお勧めします。</p> <p>右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスのみ適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。</p> |
| ASCII Line Text Label | <p>このフィールドには、<i>Line Text Label</i> フィールドと同じ情報を指定します。ただし、入力は ASCII 文字に制限されます。Unicode (国際化) 文字をサポートしないデバイスでは、<i>ASCII Line Text Label</i> フィールドの内容が表示されます。</p> <p>右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスのみ適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。</p> |
| External Phone Number Mask | <p>この回線からのコールの発信時に発信者 ID 情報の送信に使用される電話番号 (またはマスク) を指定します。</p> <p>最長 24 桁の数字および「X」文字を入力できます。X は、電話番号を表し、パターンの末尾に指定する必要があります。たとえば、マスクを 972813XXXX に指定する場合、内線番号 1234 からの外部コールには、発信者 ID が 9728131234 と表示されます。</p> <p>右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスのみ適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。</p> |
| Message Waiting Lamp Policy | <p>このフィールドでは、受話器のランプの点灯に関するポリシーを設定します。次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> システムポリシーを使用 (電話番号は、サービス パラメータ「メッセージ受信のランプポリシー」の設定を参照します) 点灯およびプロンプト プロンプトのみ 点灯のみ なし <p>右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスのみ適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|-----------------------------|---|
| Ring Setting (Phone Idle) | <p>このフィールドでは、着信コールが受信され、そのデバイスにそれ以外のアクティブなコールがない場合に、回線の表示に対するリング設定値を設定します。次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Use system default • Disable • Flash only • Ring once • Ring <p>右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスのみ適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。</p> <p> (注) エンタープライズパラメータ、デバイスプール、またはデバイスレベルで MLPP Indication をオンにすると、MLPP Indication をデバイスに対してオフ (上書き) にしない限り、デバイスで回線に対する通常の Ring Setting が動作しません。</p> |
| Ring Setting (Phone Active) | <p>ドロップダウンリストボックスから、この電話機で別回線に別のアクティブなコールがある場合に使用するリング設定を選択します。次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Use system default • Disable • Flash only • Ring once • Ring • Beep only <p>右側のチェックボックス (Update Shared Device Settings) をオンにし、Propagate Selected ボタンをクリックしない限り、設定は現在のデバイスのみ適用されます (右側にあるチェックボックス表示は、この電話番号を他のデバイスが共有しているときにのみ表示されます)。</p> <p> (注) エンタープライズパラメータ、デバイスプール、またはデバイスレベルで MLPP Indication をオンにすると、MLPP Indication をデバイスに対してオフ (上書き) にしない限り、デバイスで回線に対する通常の Ring Setting が動作しません。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|---|--|
| Multiple Call/Call Waiting Settings on Device [device name] | |
|  <p>(注) これらのフィールドが表示されるのは、この電話番号をデバイスに関連付けた場合のみです。</p> | |
| Maximum Number of Calls | <p>デバイスの回線に最大 200 コールまで設定できます。デバイスに設定されるコールの合計数が、この制限要因になります。ある回線に対してコールの数を設定すると、別の回線で利用できるコールの数はそれだけ少なくなります。</p> <p>デフォルト値は 4 です。電話機が各回線に複数のコールを設定できない場合、デフォルト値は 2 です。</p> <p>CTI ルート ポイントの場合、各ポートに最大 10,000 コールまで設定できます。デフォルト値は 5000 コールです。このフィールドは、Busy Trigger フィールドと併用します。</p> <p> (注) デフォルトでは、CTI ルート ポイントに設定可能なアクティブコールの最大数は 5000 コールになっていますが、シスコでは、コールの最大数をルート ポイントあたり 200 以下に設定することをお勧めします。この設定により、システム パフォーマンスの低下を防ぐことができます。CTI アプリケーションで 200 を超えるコールが必要な場合は、複数の CTI ルート ポイントを設定することをお勧めします。</p> <p> ヒント 共用の回線表示を持つデバイスに対して、この設定がどのように機能するかを確認するには、『Cisco CallManager システム ガイド』の「共有回線の表示」を参照してください。</p> |
| Busy Trigger | <p>この設定は、Maximum Number of Calls および Call Forward Busy と連携し、回線で使用するコールの最大数を決定します。たとえば、Maximum Number of Calls に 50、Busy Trigger に 40 をそれぞれ設定した場合、41 番目の着信コールは、ビジーのために拒否されます (Call Forward Busy が設定されている場合は転送されます)。この回線が共有されている場合は、すべての回線がビジーになった後に着信コールが拒否されます。</p> <p>このフィールドは、CTI ルート ポイントの Maximum Number of Calls と併用します。デフォルト値は 4500 コールです。</p> <p> ヒント 共用の回線表示を持つデバイスに対して、この設定がどのように機能するかを確認するには、『Cisco CallManager システム ガイド』の「共有回線の表示」を参照してください。</p> |

表 49-1 電話番号の設定値 (続き)

| フィールド | 説明 |
|--|---|
| Forwarded Call Information Display on Device [device name] | |
|  (注) これらのフィールドが表示されるのは、この電話番号をデバイスに関連付けた場合のみです。 | |
| Caller Name | このチェックボックスをオンにすると、コール転送時に発信者名が表示されます。 |
| Caller Number | このチェックボックスをオンにすると、コール転送時に発信者 ID が表示されます。 |
| Redirected Number | このチェックボックスをオンにすると、コール転送時にリダイレクトされた番号が表示されます。 |
| Dialed Number | このチェックボックスをオンにすると、コール転送時に最初にダイヤルされた番号が表示されます。 |

Calling Search Space

Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで、希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、OK をクリックします。



(注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。

追加情報

P.49-27 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [電話番号の設定の概要 \(P.49-2\)](#)
- [電話番号の検索 \(P.49-3\)](#)
- [電話番号の設定 \(P.49-4\)](#)
- [電話機からの電話番号の削除 \(P.49-6\)](#)
- [Cisco Unity または Cisco Unity Connection ボイスメールボックスの作成 \(P.49-7\)](#)
- [電話番号の設定値 \(P.49-9\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「電話番号の概要」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「電話番号の設定チェックリスト」
- [回線グループの設定 \(P.36-1\)](#)
- [割り当てられていない電話番号の削除 \(P.51-4\)](#)
- [ゲートウェイの設定 \(P.69-1\)](#)
- [電話機のリセット \(P.70-5\)](#)
- [電話機の検索 \(P.70-32\)](#)
- [Cisco IP Phone の設定 \(P.70-3\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco IP Phone」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「電話機能」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「電話機設定チェックリスト」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity Cisco CallManager 統合メールボックス設定」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」
- 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」

■ 関連項目